

関係者各位

夏本番、皆様、いかがお過ごしでしょうか。

さて、今年もバイリンガル・マルチリンガル子どもネット（BMCN）では、2023年度年次大会を日本時間10月21日（土）に、オンライン（ZOOM 会議システム）にて開催いたします。

2023年度の大会テーマを「言語マイノリティの子どもの教育—過去の実績と将来への展望」とし、セッション1では国際協力機構（JICA）に焦点をあて、JICAが行ってきた海外における実績と近年始まった日本国内での活動についてお話を伺います。

セッション2は、昨年度から始まった会員対象の公募による実践・研究報告です。発表の申し込みは、日本時間の7月15日（土）から9月10日（日）までです。詳細はこちら（[募集要項・要旨フォーム](#)）をお読みいただき、会員登録をしてから、ぜひご応募ください。

2023年度年次大会プログラムの概要は下記の通りです。詳細および大会参加申し込み方法につきましては、8月下旬にご案内いたします。

昨年度まで会員向けに開催し好評をいただいております「継承日本語教育実践ワークショップ」は、年次大会とは別に開催してまいります。第1弾として12月2日にダグラス昌子先生による「幼児・児童の日本語の『読み』の力を育てるための支援と指導」を予定しております。まずは会員登録いただき、参加費は3000円です。

では、皆様のご参加を心からお待ちしております！

BMCN2023年度年次大会実行委員会

<BMCN 2023 年度年次大会 プログラム>

テーマ：「言語マイノリティの子どもの教育—過去の実績と将来への展望」

*日時：日本時間 2023 年 10 月 21 日（土）午前 9 時～午後 4 時 30 分

*開催方法：オンライン（Zoom）定員：約 300 名

*会 費：会員無料、非会員 1000 円

*大会参加申し込み開始：8 月下旬（予定）

セッション1 日本時間 9:15～12:30

テーマ：「国際協力機構（JICA）と日本語教育—国内も含めた今後の活動指針」

2021 年度年次大会では国際交流基金（JF）、2022 年度は外務省の関連団体として海外子女教育振興財団に焦点をあて、本年度は、国際協力機構（JICA）に焦点をあてます。JICA がこれまで行ってきた言語教育に関わる活動は、主に、海外協力隊による日本語教師の派遣でしたが、近年、日本国内での多文化共生へ向けた活動も始まっています。これまでの海外での実績について概観するとともに、今後の JICA の方針や展望についてお話を伺い、参加者のみなさまも交えて議論する機会を持ちたいと思います。

講演 1：JICAがこれまで行ってきた国内外での言語教育に関わる活動について

吉田憲（九州大学国際戦略企画室特任教授、元JICA中南米部長）

講演 2：JICAの国内における新たな事業と展望

磯貝白日（JICA国内事業部人材受入支援室 副室長）

現場の声を聞く：海外でのJICA貢献 - 南米を中心に（詳細は交渉中）

横溝みえ（ブラジル代表）他

パネル：「JICAに期待すること」

小島祥美（東京外国語大学多言語多文化共生センター長／准教授）

小貫大輔（東海大学国際学部教授）

中島和子（トロント大学名誉教授）

質疑応答・フロアも交えたディスカッション

セッション 2 日本時間 13:00～16:30

個人・グループ発表（公募）

テーマ：「海外・国内における多言語環境で育つ子どもの教育（多言語・多文化政策、母語/継承語/家庭言語教育、第二言語としての日本語教育、多文化共生、異文化適応、アイデンティティ、学習障害等を含む）」に関わる実践や研究

<発表の種類>

- ・個人発表：報告・発表(20分)+質疑応答(10分)
- ・グループ発表：持ち時間 60分。発表+質疑応答を各グループでアレンジ

<発表内容によるカテゴリー>

- ・実践報告（自由に発表できる部門）～保護者の方の報告も歓迎します。
- ・研究発表（オリジナルデータに基づくもの、査読（1回）あり）

発表の申し込みは、日本時間の7月15日(土)～9月10日(日)です。

詳細はこちら（[募集要項](#)、[要旨フォーム](#)）

バイリンガル・マルチリンガル子どもネット（BMCN）

ホームページ <https://www.bmcn-net.com>

【お問い合わせ】

年次大会に関しては、Email：bmcn.taikai@gmail.com（実行委員会）

その他 BMCN に関しては、Email：bmkodomonet@gmail.com（事務局）
